

みんなは何派？—変わりつつある日本の主食—

市立札幌旭丘高等学校 チーム名:チーム米好き

班員名:寺田桜子・竹谷壮真・高原唯楓・武田梨

・研究の概要・

日本は現在米以外にもパン、麺などの小麦製品も消費が拡大し、米に並ぶ主食となりつつある。そこで、私たちの班では日本のそれぞれの地域では米の方がよく食べられるのか、パンの方がよく食べられるのか調べ、なぜそのようになるのか様々な観点から分析した。その結果、気温が低い地域で米がよく食べられ、気温が高い地域ではパンがよく食べられていることが分かった。

・研究背景・

札幌は日本有数の大都市であり、市区町村別でいうと人口は全国4位である。そのため主食という面から見ても日本有数の消費地である。そこで、各地方の人口の最も多い県庁所在地(仙台、東京、名古屋、大阪、広島、松山、福岡)と札幌の主食消費量の特色を調べた。

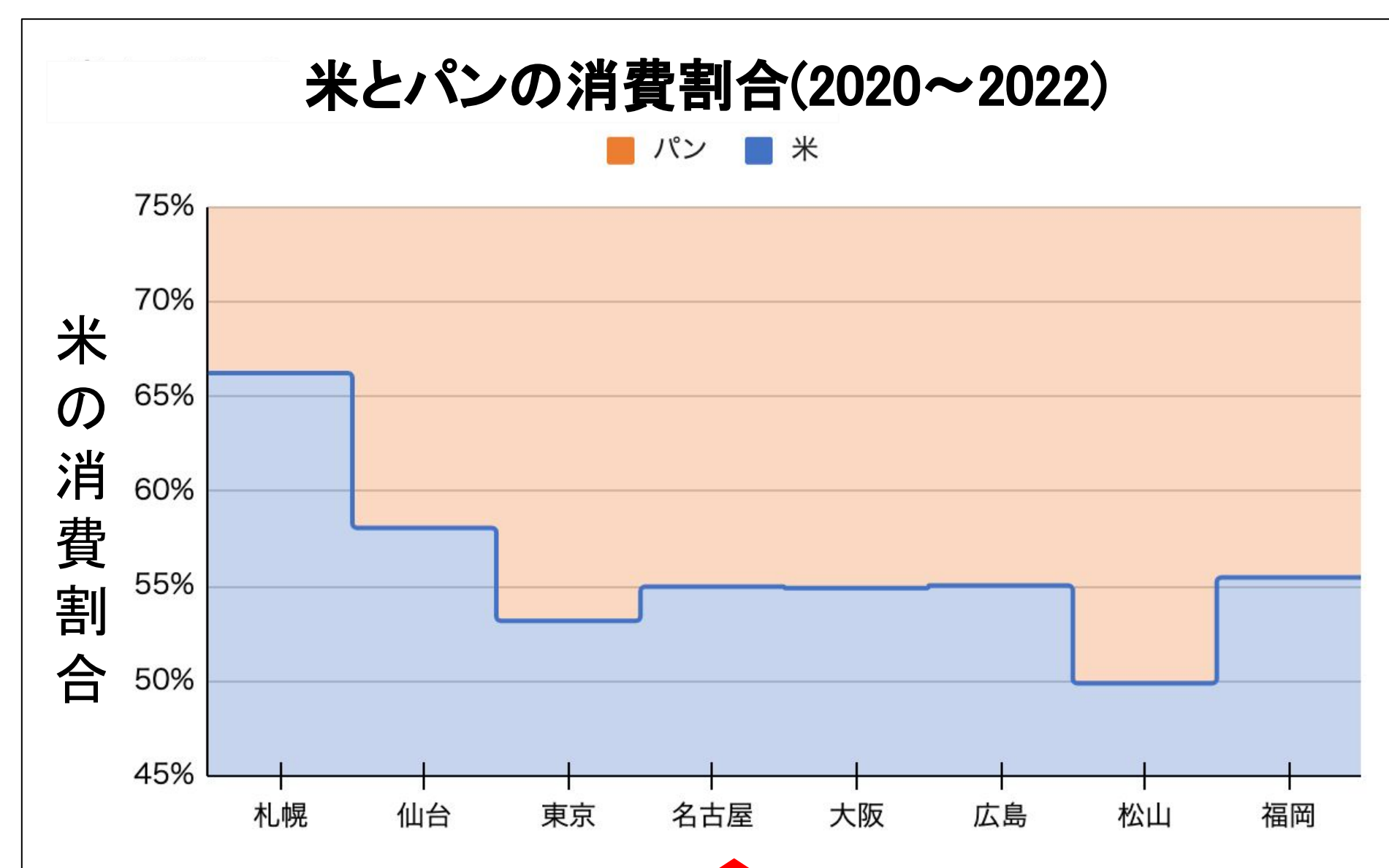
・仮説・

- ・ 気温の低い地域では米の生産が盛んで米文化が根付いていることから、札幌は米の消費量が全国の中で多い地域と考えられる。
- ・ 地域ごとの米、パンの値段が消費量に影響している。
- ・ 若い世代が多い地域ではパンの消費が多く、年配の世代が多い地域では米消費が多い。

・研究方法・

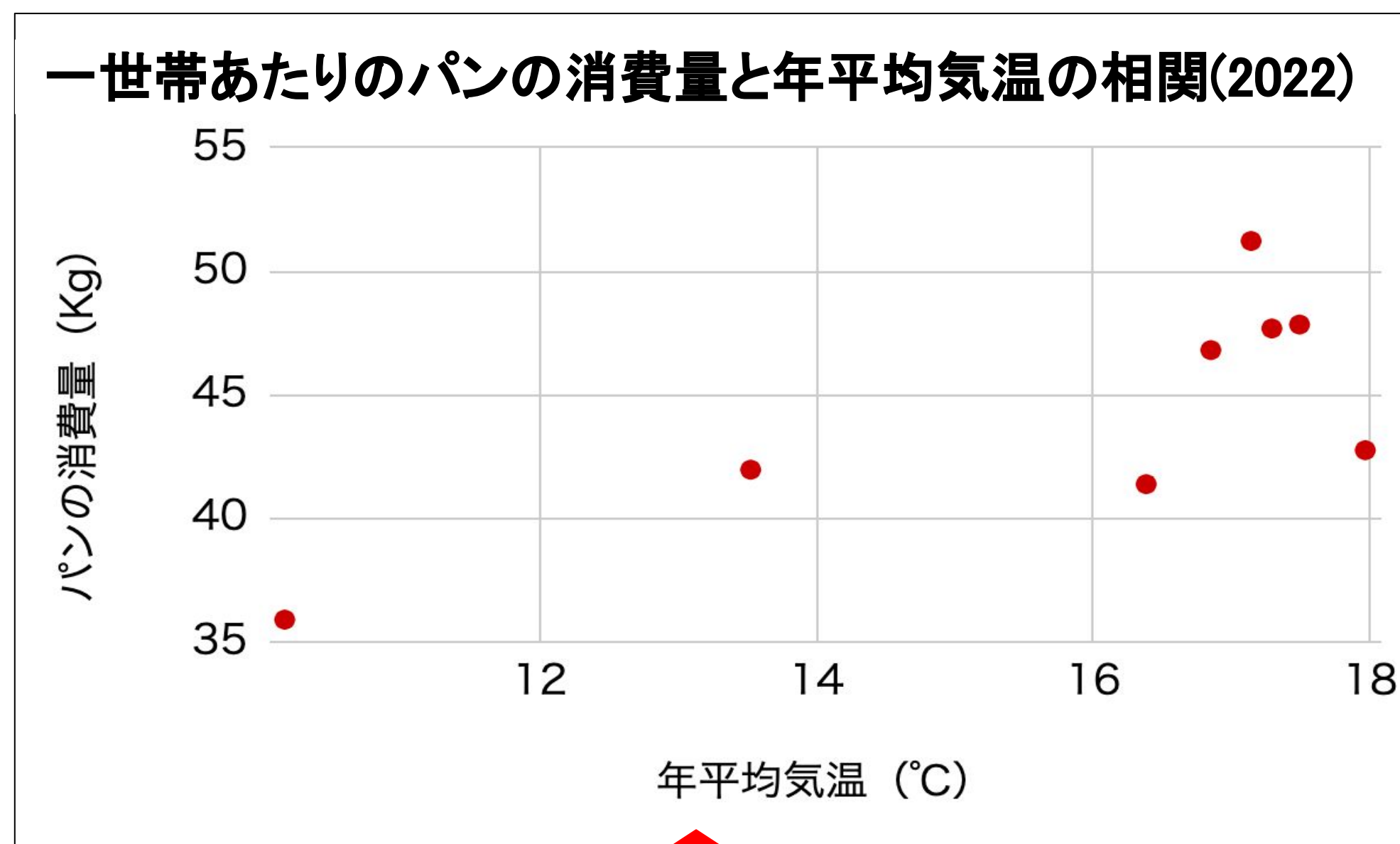
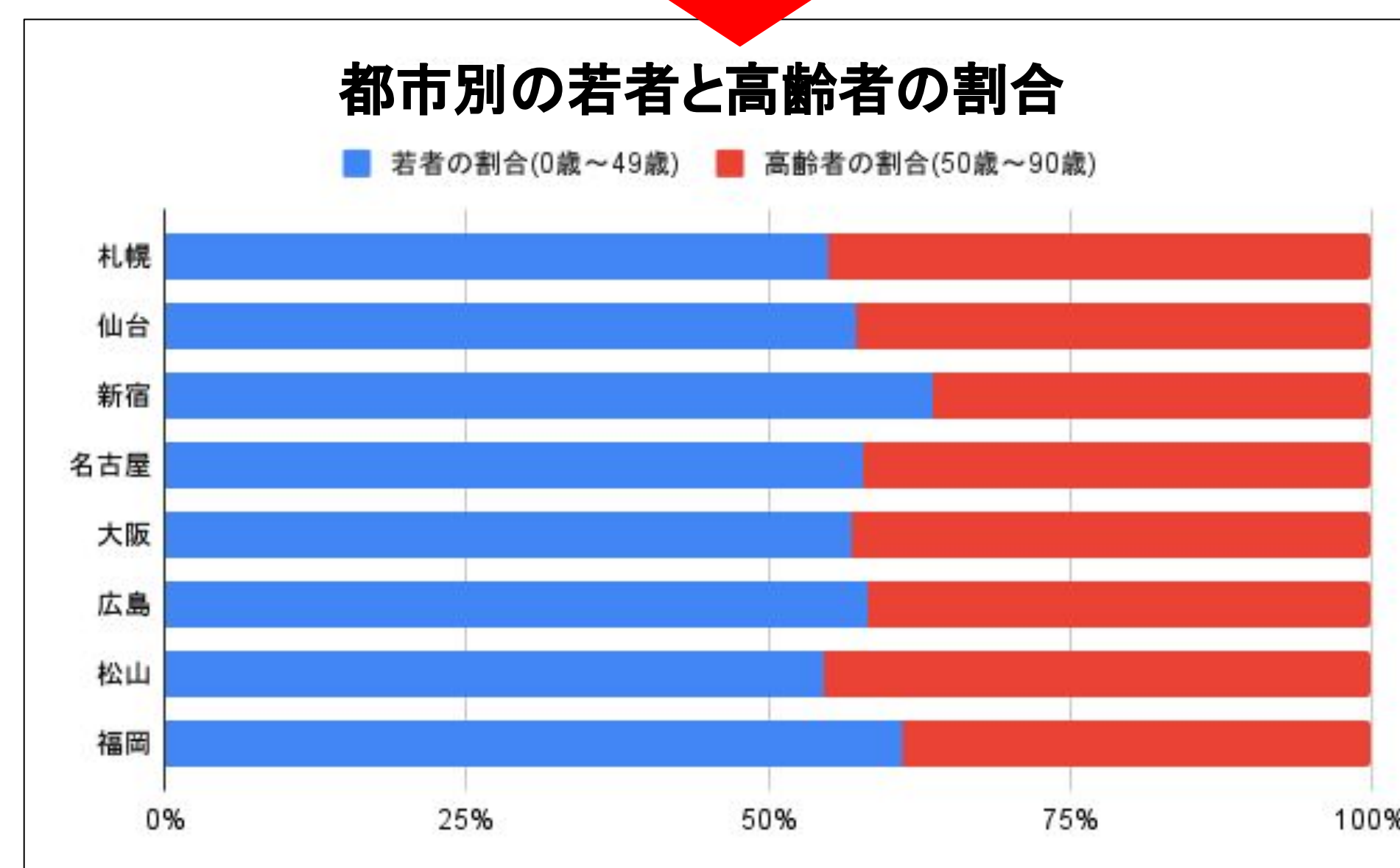
- ① 各都市の年代の構成と米とパンの消費割合の特徴との関係を調べる。
- ② 各都市の平均気温と消費割合の特徴との関係を調べる。
- ③ 各都市の米、パン、小麦粉の価格の推移と消費割合の特徴との関係を調べる。
- ④ これら3つから分析し、米の消費割合が高い都市とパンの消費割合が高い都市の特徴をまとめる。

結果



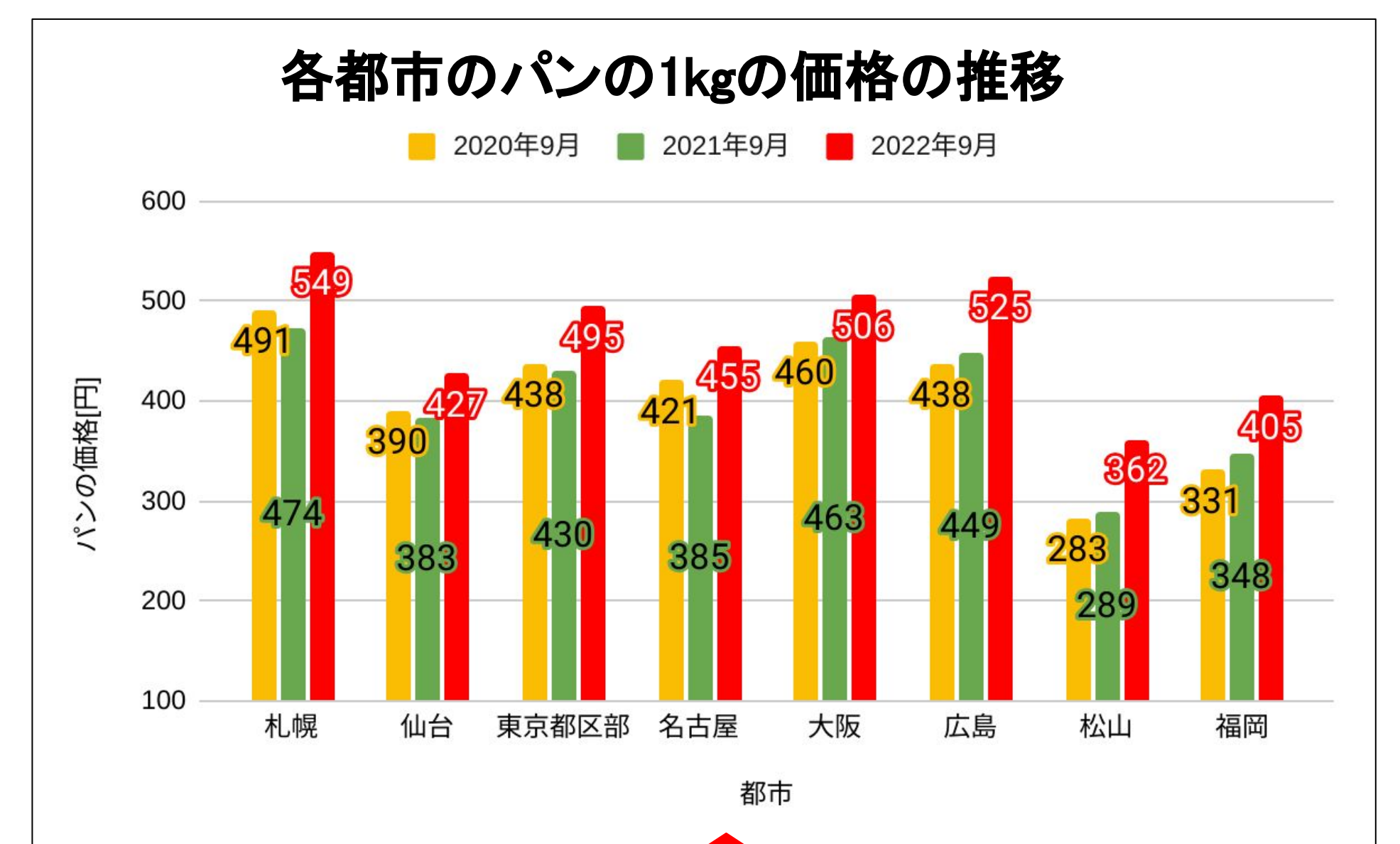
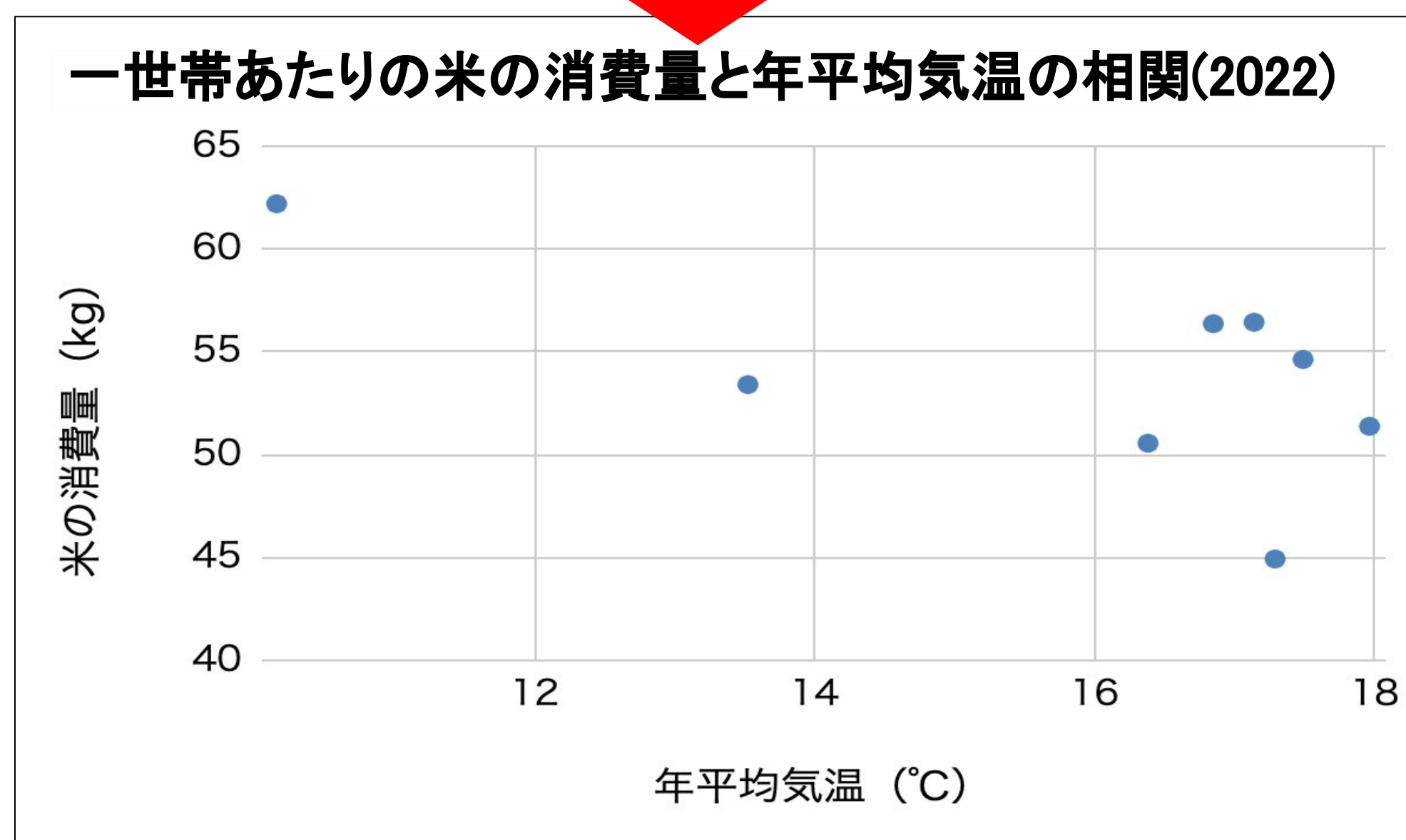
南の都市になるにつれてパンの消費割合が増えている。最もパンの消費割合が高いのは松山市の50%。対して札幌は米の消費の割合が約65%と最も多い。

若者と高齢者の割合については今回の年齢区分では米、パンの消費量との関係は見られなかった。

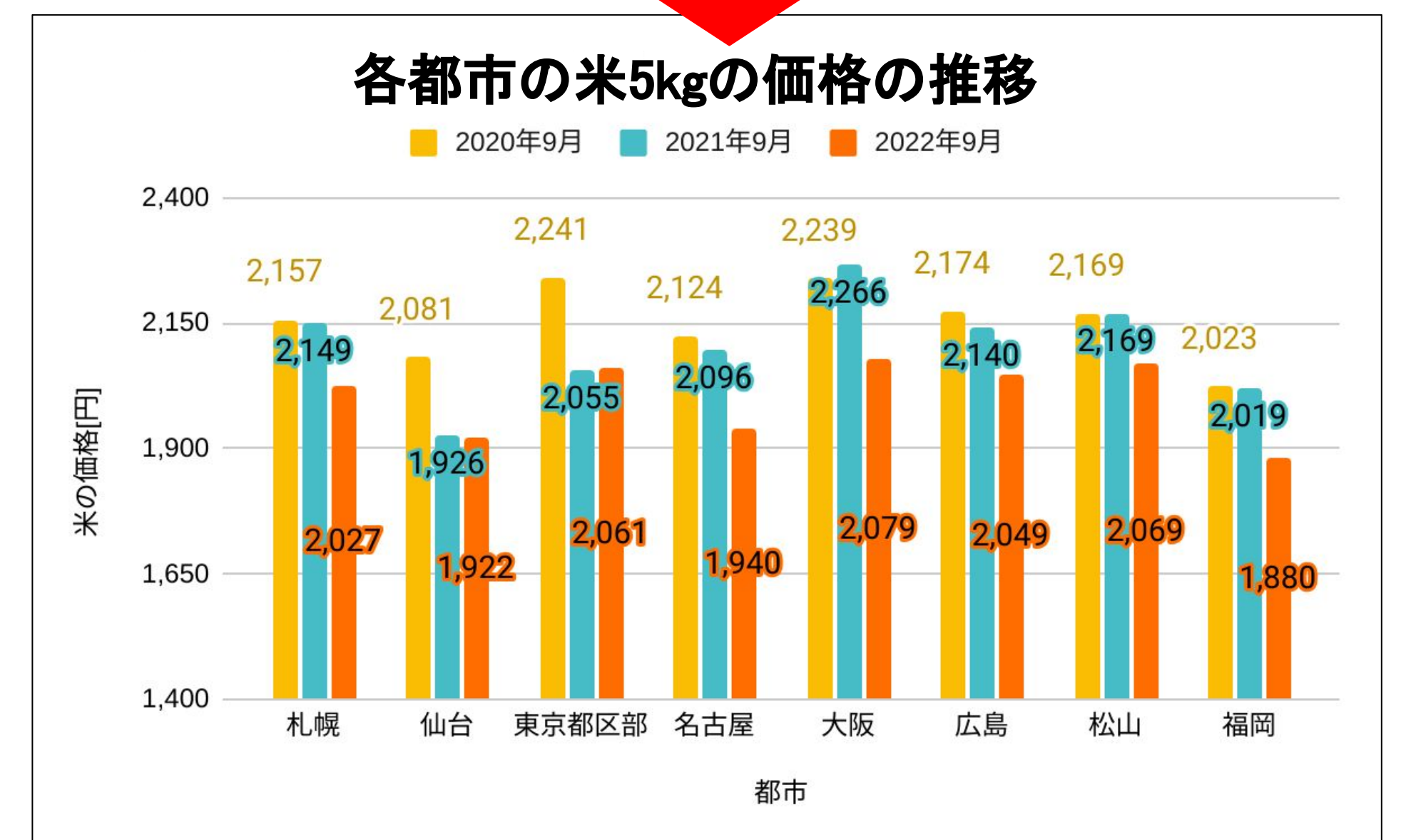


相関係数は0.78であり、正の相関がある。平均気温が高くなるほどパンの消費量が増えている。

相関係数は-0.62であり、負の相関が見られる。気温が上がるほど、米の消費量は減っている傾向にある。



札幌が最も高く松山が最も低い。札幌と松山では約200円もの差があった。2020年は東京都区部、2021年、2022年は大阪、松山が最も高く、比較的低かったのは仙台と福岡であった。札幌は米の価格も高めであり、消費割合のグラフを見るとパンの価格が最も高い札幌は米の割合が最も多く、低い松山はパンの割合が最も多かった。



※パンに使われる輸入小麦、小麦粉の価格は為替相場、小麦の国際相場、船の海上運賃、電気料金が反映されている。(参考:日清製粉グループHPより)

考察

研究方法① 各都市の年代の構成と米とパンの消費割合に相関は見られなかった。その理由として、若者と高齢者に米とパンの消費割合の偏りが小さかったことや都市ごとに若者と高齢者の米とパンの消費割合が異なっていたことが考えられる。

研究方法② 気温が上昇するほど、パン消費が増える傾向と米消費が減る傾向があり、特にパンに関しては、相関係数0.78と高い相関が見られた、このため米、パンの消費と気温は関係性があると考察できる。しかし気温と同様の性質をもった別のデータが結びついていない可能性などについては吟味が必要である。

研究方法③ パンの価格が高ければ米の割合が高くなり、反対にパンの価格が安ければパンの割合が高くなるという関連があることが見えた。

●物価になぜここまで差が出るのか、なぜ平均気温と米、パンの消費が関わっているのかについては詳しく調査することができなかったが、推測として、物価は輸送費も関わってくるため、南北に広がる日本列島では、輸送距離等から価格に差が出るのではないだろうか。同様に、緯度の差があるこの国では、気温により衣食住の文化、習慣も大きく異なる。このような推測が正しいか、またその上で主食とこれらの要素の関係は密接であるといえるか、今後研究していきたい。

出典

- ・総務省統計局の小売物価統計調査(2023年9月に発表された資料) <http://www.stat.go.jp/data/kouri/doukou/3.htm>
- ・市区町村別の5歳年齢階級別人口の推移のグラフ(2015年) <https://ecitizen.jp/lc/>
- ・家計調査(二人以上の世帯) 品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市 <https://www.stat.go.jp/data/kakei/5.html>
- ・気象庁 過去の気象データ検索 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etnr/>